

# 新卒採用

## 募集職種：生活支援員

夢ふうせんは、障害がある利用者さんが気持ちよく施設に通っていただけるよう生活支援や就労支援を行う仕事です。利用者さんは特別支援学校を卒業された方々で、18歳から50代の方まで、幅広い年齢の方々が通われています。

障害がある利用者さんを考慮し、施設を「うみ」「風」「そら」「はな」とグループ分けしており、そのいずれかに配属となります。障害の度合いでグループ分けされていますが、利用者さんの個性は本当にさまざま。一人ひとりときちんと向き合う姿勢が求められる難しさもありますが、利用者さんに喜んでいただけるたびにこちらも活力をもらえる、本当にやりがいのある仕事です。

学生時代に社会福祉を学んでいたという職員もいれば、全く異業種から入社してきた職員も在籍。入職後は研修やOJTで業務をしっかりと身につけていくことができますので、まずは謙虚さ、そして誠実さを忘れず、知識を吸収していった欲しいと思います。

社会福祉士や介護福祉士、精神保健福祉士といった資格取得を目指す方には受講料の補助や資格手当といった待遇も用意していますし、それに休暇が取りやすいというのが当法人の大きな特長。通所施設でお盆や年末年始は施設全体がお休みのため、ワークライフバランスの充実にも適した環境が整っています！



## 先輩職員インタビュー

障害者支援部門  
そらグループ  
グループリーダー  
小杉 武史さん



### ◎自分のアイデアや工夫がカタチになっていくところにやりがいを感じます！

#### ー現在、どんな職業についていますか？

現在は、生活介護のそらグループでリーダーをしています。ダイレクトメールの請負作業を中心にしながら、合間に余暇活動や外出行事を行い、「仕事のやりがい」と「余暇の楽しみ」を両立できるようなグループを目指しています。職員と活発に意見を交わし、利用者にとってより良い環境を目指して、協力しながら環境に取り組んでいます。

#### ー職場はどんな雰囲気ですか？

職員同士の会話が活発にあり、全体的に明るい雰囲気だと思います。グループは分かれています。委員会や全体会議などで他グループの職員と関わる機会も多くあるので、色々な職員と仲良くなることができます。

#### ー夢ふうせんで働いてやりがいを感じる場所は？

自分のアイデアや工夫がカタチになっていくところにやりがいを感じます。ある利用者の方が、「給食でラーメン出ないかな〜」とつぶやいていたので、「だったら今度食べに行きませんか？」と伝えるととても嬉しそうな顔をしていました。そんなやり取りをきっかけに、選択外出という活動を企画し、4つのコースから自分の行きたい外出先を利用者に選んでもらいました。立川に行ってラーメンを食べることができたことを嬉しそうに話していたと後日、保護者の方から教えてもらったときは、企画してよかったと嬉しくなりました。

#### ーどんな人と一緒に働きたいですか？

相手に対して思いやりがある人と一緒に働きたいと思います。この仕事では、相手の気持ちを想像して汲み取る場面が多くあります。相手に寄り添いながら、思いやりをもって接する職員に対して、利用者も心を開いてくれると思っています。

### ◎利用者に対して真摯に誠実に向き合うことが大切！

#### ー現在、どんな職業についていますか？

はなグループで生活支援員として働いています。主な仕事は、利用者と一緒に業務委託先の栄太郎総本舗様から受託されているお菓子の箱詰めや、検品をしたりしています。また、ショップで販売している「ひののめぐみ焼きカレーパン」の袋の作成などを行っています。

#### ー職場はどんな雰囲気ですか？

対人援助の現場なので、思いやりのある職員が多いです。また、自分の意見を発信する場面も多く、自分らしさが出せる場所だと思います。

#### ー夢ふうせんに入社した決め手は？

大学では、社会福祉士の国家取得のための勉強をしました。社会福祉制度や対人援助の方法など、幅広く学んだため、今の仕事にも生かしていると実感しています。夢ふうせんに入社した決め手は、明るい雰囲気や皆さんが楽しそうにお仕事をしている姿を見て、自分もここで働きたいと思ったからです。また、有給休暇が取りやすいことや、カレンダー通りの勤務であること（年間休日124日）も、自分の時間が大切にできて、かつ、オンオフのバランスが取れていて、とても良い点だと思います。

障害者支援部門  
はなグループ  
宮岡 あいさん



障害者支援部門  
風グループ  
田中 颯太さん

## ◎利用者の個性に合わせたコミュニケーションをとるように心がけています！

### ー現在、どんな職業についていますか？

現在は、風グループに所属しており、重度心身障害者の生活介護に従事しています。仕事内容は、利用者の排泄ケア、食事介助、入浴介助、作業の支援や見守り等です。利用者のほとんどが車いすで生活されていて、ご自身で行うことが難しい生活動作や仕事の補助や介助にあたっています。

### ー職場はどんな雰囲気ですか？

私の所属する風グループは、職員の間が良く、年齢関係なく和気あいあいとしています。支援をするうえで、職員同士のコミュニケーションはとても重要であるため、このような雰囲気はとてもありがたいです。利用者ともコミュニケーションを取る場面は多く、接し方が様々でその利用者の個性に合わせたコミュニケーションをするように心がけています。そういったことから、色々なコミュニケーションの方法を学べて、とても楽しいですし、勉強になります。

### ーどんな人と一緒に働きたいですか？

利用者支援や、仕事に対して熱心な人は心から歓迎します。ですが、それだけではなく、それと同じくらい自分自身も大切にできる人と一緒に仕事がしたいです。社会人になると仕事を立て込んでしまうことがあり、自分に余裕を持てなくなる時があります。そういったときに、しっかりと自分を労い、心身ともにリフレッシュをするという考えを持つと、気持ちが楽になります。長く安定して仕事を続けるうえで、とても重要なことだと思います。趣味の時間を作ったり、睡眠時間を多くとったり、人によって様々ですが、自分なりのリラックスの方法を考えてみてはいかがでしょうか。



障害者支援部門  
風グループ  
折笠 詩音さん

## ◎小さな変化の積み重ねで信頼関係を構築しています！

### ー現在、どんな職業についていますか？

私は風グループに所属しており、重度心身障害者の方への支援を行っています。主に作業や機能訓練、余暇活動での支援や食事介助、排泄介助などの生活支援を行っています。作業では、一人ひとりの利用者の強みを理解し、自助具を使用するなど、その人に合わせた支援をすることを大切にしています。

### ー職場はどんな雰囲気ですか？

困りごとや不安ごとがあった際にも相談しやすい雰囲気の職場です。また、年齢に関係なく職員同士でコミュニケーションを取り合いながら、協力して支援を行っています。風グループでは、利用者へ支援を行っていく中で、特に職員同士のコミュニケーションが重要ですので、お互いに意見を出し合ったり、こまめに共有したりするなど、日々のコミュニケーションを大切にしています。

### ー夢ふうせんでやりがいを感じる場所は？

風グループでは、言語でのコミュニケーションが難しい人もいますが、皆さん様々な形で自身の気持ちを表現していますので、日々、楽しさを感じています。最初は、利用者とのどのようにコミュニケーションをとれば良いのか分からず、戸惑いがありました。利用者との関りを通じて、私が挨拶をすると、その利用者の表現で返してくれるようになったことなど、少しずつではありますが、小さな変化が積み重なり、信頼関係が築けてきたと実感できるときにやりがいを感じます。

